

研修テーマと実施方法

# オンライン研修について

2024年1月作成  
株式会社IMEコンサルティング

コロナ禍以来、テレワークなど、ネット環境を介した仕事の仕方が注目されているようです。研修も同様で、ネット環境を利用して行う研修には、様々な形式のものがあります。2022年頃まで、オンライン研修で多く実行されていた方法は、大別して3つの形式があげられます。

種別・通称（受講形式）	形式	研修配信要領
オンライン研修、リモート研修 （講義を個別 or 集合受講）	ライブ配信	講義の生中継配信
	オンデマンド配信	講義動画等の録画配信（学習塾など）
e-Learning（個別で閲覧受講）	教材コンテンツ再生	研修プラットフォーム上で教材コンテンツを再生

研修は、オンライン等で行うことが簡単で、効率的に効果をあげられる方法・・・でしょうか？  
 コロナ禍では政府などさまざまな機関が、テレワーク、リモートワーク等を勧めていましたが、実際には仕事の間違い、納期遅れ、チェック漏れ、顧客クレームなど、うまくいっていない事が多くみられました。研修も集合研修が出来なかったため、多くの研修をライブ配信型のオンライン研修で行いました。しかし、実感として、どの研修もコミュニケーションが希薄で、研修効果が薄い感じでした。

**研修は、オンラインでやれば、手軽で安いだろうと お考えではないでしょうか・・・？**

(1) オンライン研修の対応について

コロナ禍におけるオンライン研修は防疫効果や講師の旅費がかからない等の利点があるため、多くの研修がオンラインで実施され、弊社も多くの研修を研修企画会社でライブ配信を行いました。しかし、やってみて分かった事として、オンライン研修には難点(問題)が非常に多いようです。今は次の①～⑤問題から、オンライン研修の直接受注は、基本的には お受けしておりません。

### オンライン研修

①効果が薄い

②配信・受信環境整備の問題

③運用、トラブル対応等の問題

④契約・遵守事項の問題  
(定員、著作権等)

⑤料金設定の問題

**オンライン研修は お勧め出来ません**

特に効果が薄いことが最も大きな問題です。その為か研修業界では、2022年の半ばあたりから、オンラインの公開研修は、受講者が集まらなくなり、現在は従来のリアル研修に戻されています。(オンライン研修は激減しています)

(2) 研修の実施について

**研修の目的は？ 費用対効果は？ [V]価値=[F]機能・効果/[C]コスト**

弊社では、オンライン研修をやらない訳ではないのですが、費用対効果が良くないため、積極的にはお勧めしておりません。できれば、通常のリアル研修をご選択ください。

どうしてもオンライン研修を行いたいのであれば、上記②～⑤の問題をクリアしていただければ、お受けすることもあります。

- なお、手軽に研修を行なう事がご希望でしたら、
- YouTubeなどで、ご希望テーマの研修を探して受講される事がよろしいかと思ます。
  - もしくは、研修配信会社によるe-Learningシステムをご利用いただく手もあると思ます。

## ※ オンライン研修の実施に関する補足事項

### (1) オンライン研修の利点

研修をオンラインで行う利点(メリット)は、講師の旅費がかからない事と防疫効果・・・くらいかもしれません。ネット上では、様々な利点があげられている事がありますが、条件がかなり限定されての話とと思われます。

### (2) オンライン研修の難点

オンラインで研修の難点(デメリット)は、数多く上げられます。

- |                          |                |                 |
|--------------------------|----------------|-----------------|
| ①効果が薄い事、                 | ②配信・受信環境整備の問題、 | ③運用、トラブル対応等の問題、 |
| ④契約・遵守事項の問題(定員、著作権等の遵守)、 | ⑤料金設定の問題       |                 |

#### ①効果が薄い事

基本的には画面とマイクを通しての講義になるため、相互コミュニケーションが不十分で、質疑応答や事例話し等、内容の深掘りがしにくいこと。受講者の参加意識に隙が生じる事などがあるようです。

「受講側」事後アンケートや主催者の意見から、研修室で受講者が講師と対面して行う集合研修と比べて、研修効果(理解度とモチベーション)は、だいぶ落ちるとのお考えを持たれているようです。

##### ・臨場感の問題

- ・みんなでテレビを見ている様な感じになる (もの珍さを感じている間は、よそ見せず見ている)
- ・集中の問題、講師がそこにいない為、集中すべきポイントが分からない
- ・質問などがしづらい

##### ・意識の問題

- ・参加意識の問題、積極的な気持ちになれない人が多い
- ・関心度、当事者意識の問題、自分には関係ないとか、他人事のような意識になっている
- ・離席しても眠っていてもわからないと思い、受講態度が好ましくない受講者が散見された

「講師側」受講者の状態・表情が事例の話し等、その場での対応が困難です。

講師側としては、受講者の表情・態度等がよく分からず、状況把握などが困難です。

その為、説明の加減、トピックス・事例・余談をはさむ、ギャグをとぼす、ちょっとしたクイズをするなどの対応がうまくできず、通り一遍の話しになりがちであるようです。

受講側には、臨場感や参加意識の問題、集中しにくい、質問がしづらいなど 講師は、受講者の状態・表情がよく分からない為、その場での対応が困難である
--

距離感を少しでも詰めるには、テレビ番組のようにエンジニアが画面の切り替えを行うなどの方法が理想と思われますが、人材確保とコストから見て困難です。

#### ②配信・受信環境整備の問題

昔からその時代の機材を使った研修を行ってきましたが、機材の準備、セッティングは大きな問題です。

「受信側」社内研修でライブ配信のオンライン研修を受講される場合、会議室や食堂にパソコンとプロジェクタを用意して大勢で受講されることが多いようです。

ただ、適切なレベルの機材やネット環境がないと回線の中断、電波不調やノイズ、容量制限、機械故障などの予期せぬ事態の懸念があります。(あまり多い事ではありませんが・・・)

「配信側」十分なクオリティの機材が必要、かつ騒音・雑音のない部屋を確保しなければなりません。現在コロナ対応がほぼ終わり、オンライン研修の需要が激減しているため、配信社は設備投資はできず、レンタル業者も減少しているようです。

##### ・配信ルームの問題

テレビ会議(リモート会議)をしている際に、救急車の音や、工事の騒音が入ってしまう事があります。また、配信している事を知らずに入室してくる人がいたりします。配信場所は騒音がなく、誰も入ってこない、ある程度広いスペースが必要です。

##### ・機材の問題

そもそも配信側は、安価なWeb通信用のカメラとマイクで出来ると言うものではないと思われます。パソコンのカメラとマイクを使い、Zoomなどで配信するのでは、映像・音声のクオリティが低く、研修として成立しづらいと考えられます。

### ③運用、トラブル対応等の問題

機材を多く使う研修は、運用やトラブル対応をきちんと行わなければ、「効果が希薄である事」を助長してしまうことになります。

#### ・機材・回線の確認、リハーサルの問題

一日がかりのオンライン研修を一発勝負で成功させることは、非常にギャンブル的です。

滞りなく運用するには、十分に準備して、リハーサルやトラブルを想定して対応の確認などしておくことが望まれます。

少なくとも受信側、配信側で前日までに時間を合わせて対応・調整することが必要です。

#### ・機材操作・トラブル対応の問題

研修のレベルを高めるには、機材やソフトの操作や画面の切り替えなど、高度なシステム対応が必要になることがあります。講師が話しながら行う事は困難です。

また、回線トラブル、機材トラブル、その他突発事項などへの対応が必要になることがあります。

そのため研修企画会社の、ライブ配信のオンライン研修では、システム操作担当を一人つけていただいております。（弊社では現在用意できません）

#### ・運用管理の問題

特に受信側において、研修運用の管理が必要なことがあります。

講師が行うのが意外と難しい事として、休憩時間の対応・取扱いがあります。

スタート時は出席確認など比較的容易ですが、一時間に十分程度とる休憩は、着席確認に手間取る事がよくあります。

また、受講者の質問や発言などについては、講師が指し示す(指名する)ことが困難な場合が多いため、受講会場での整理などが必要になることもあります。

### ④契約・遵守事項の問題（定員、著作権等）

オンライン研修は、テレビ視聴と混同されることがあります。

テレビの録画は個人使用においてはタイムシフトとして合法とされています。

しかし、オンライン研修には「定員」「著作権」「契約外使用禁止」などの遵守事項があります。

#### 「定員の厳守」

配信側に断りなく受講者数を増やされていたことがありました。

食堂で、皆でテレビを見るような感覚で、気軽に受講人数を増やされるお会社があります。

人数が定員を超える場合には、リアル研修と同じで、別の時間に別料金で受信することになります。

#### 「違法コピー等の著作権違反」

以前、リアル研修を会社の指示で、講師に無断(隠し撮り)でビデオ撮影をされたこともありました。

オンライン研修や e-Learning でも、パソコン画面の録画やスクリーン投影画面のビデオカメラ撮影等をされた会社がありました。

また、受講者がスマホ、カメラ、ICレコーダー等で録画、撮影、録音などをされることも多くあります。

#### 「契約外使用(二次配信、転売等)」

配信者に断りなく、グループ会社などに転送配信をしようとしたケースがあります。

また、秘密で録画した研修ビデオを繰り返し使用されていた会社がありました。

さらにそれをグループ会社に提供されていたケースもあります。（本社・工場が群馬にある某社など）

### ⑤料金設定の問題

オンライン研修の料金は、提供会社によって異なるようです。

ただ、受講をお考えのお会社も、料金体系について、様々な考え方をされているようです。

#### ・オンライン研修は講師料だけで、講師の旅費の分だけ安くなるとお考えの場合があります。

#### ・NHK や衛星放送などの契約料と同じ様な理解をされている場合があります。

この場合に困るのは、受信料を払えば、録画などしても良いと勘違いされたりする事で、「遵守事項の問題」等につながるようです。

#### ・料金体系は、人数分の受講料を払えばよいとお考えの場合があります。

これは、「e-Learning (コンテンツ閲覧)」と混同されているケースと思われます。

リアル研修は主に、講師料+テキスト代+講師の旅費で構成されます。

オンライン研修の料金は、リアル研修より安くなると期待されることが多い様ですが、問題ない様にきちんと行うには、高額な費用が掛かります。

配信・受信の環境によっては、リハーサル、機材調整等が必要で講師の有料拘束時間は多くなり、配信場所と受講場所にトラブル対応の管理者(エンジニア)を置くこと等が必要となる場合があります。

また、ほとんどのお会社では、配信を会社又は個人で録画、録音、撮影などをしようとされるので、著作権違反对策等を考慮し、教材の使用権販売(許諾料)の形をとると、かなりの高額になります。

料金体系(配信原価)は、配信会社によりだいぶ異なりますが、出講費用+機材・配信ルーム・エンジニア費用+教材使用権料+テキスト代などで構成されます。(オンライン研修にあまり詳しくない個人の講師は、講師料だけで引き受けられる事があります。)

●料金の例

上記②③④に対応する形でのオンライン研修費用は、非常に高く設定することになります。以前、オンラインでの社内研修を都内本社の大企業、数社で行ないましたが、それぞれのお会社には、研修企画会社と弊社の合計で、数百万円を出していただきました。

(3)弊社の対応

オンライン研修は、効果が薄いことなど、多くのデメリットがあるため、弊社では集合研修は、講師と対面で行うリアル研修をお勧めしております。

- |   |
|---|
| ①効果が薄い事、 ②配信・受信環境整備の問題、 ③運用、トラブル対応等の問題、<br>④契約・遵守事項の問題(定員、著作権等)、 ⑤料金設定の問題 |
|---|

ただ、②～⑤の問題がクリア可能なら対応を考えます。

なお、どうしても、手軽に研修を行なう事をご希望でしたら、

- YouTubeなどで、ご希望テーマの研修を探して受講される事がよろしいかと思ひます。
- もしくは、研修配信会社による e-Learning システムをご利用いただく手もあると思ひます。

